

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公表番号】特表2015-524944(P2015-524944A)

【公表日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-054

【出願番号】特願2015-524802(P2015-524802)

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/01 (2006.01)

B 6 0 K 35/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/01

B 6 0 K 35/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年4月20日(2016.4.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 9】

このことによって、特に有利なことに、画像の背景光が最小化され、背景光は環境光に由来する。この最小化は、同様に、特に有利なことに、続いて、環境光で表現される画像の照明が最小化されるという結果をもたらし、さらに、表現される画像のコントラストが増加するという結果をもたらす。その結果として、さらに、車両のフロントガラスを通して見える周囲に重畳された画像の表現が、特に現実的に実現可能であることが達成される。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 0】

一つの可能な構成によれば、中間スクリーンは、すべて反射性に具現化され、この結果として、環境光による画像の背景光は特に簡単に最小化され、画像の高コントラストが実現可能になるようにしている。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 1】

一つの発展形態では、中間スクリーンは、光学フィルタを含み、仮想画像上への環境光の影響をさらに低減することが達成可能であるようにしている。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0013】

一つの発展形態では、仮想画像上へ環境光の影響を低減する光学フィルタは、環境光が吸収可能、または所定方向に透過可能もしくは反射可能であるように具現化される。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

一つの可能な更なる構成によれば、中間スクリーンは一部が反射性に具現化され、表現する画像の背景光を最小にするようにし、背景光は環境光に由来する。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

一つの可能な発展形態では、中間スクリーンはこの目的のため光学フィルタを含み、その光学フィルタは、他の構成によれば、光源によって生成された光のみを中間スクリーンによって透過可能であるように具現化され、その光学フィルタは、更なる構成によれば、環境光が反射可能、または所定方向に吸収可能もしくは偏向可能であるように具現化される。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

一つの構成によれば、投影スクリーンは、また、光学フィルタを含み、光源によって生成された光のみが投影スクリーンから観察者に反射可能であり、環境光は所定方向に吸収可能または透過可能であるように具現化される。その結果、環境光の影響は、さらに大幅に低減される。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

従来技術で知られたヘッドアップディスプレイの場合には、光は、図示しない方法で案内され、透明に具現化された中間スクリーンを介して、中間スクリーンが光を配向して整形し、表現される画像が投影スクリーン上に現れるようにする。ここで不利であることは、環境光の存在が中間スクリーンの背景光につながり、表現される画像のコントラストの低下をもたらすことである。これは、続いて、眼に見える周囲に画像を重ね合わせた表現の場合に、現実的な表現の効果の印象を低減するという結果を有する。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0023

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0023】

これらの欠点を克服するために、本発明に係るヘッドアップディスプレイ1の例示的な実施形態における中間スクリーン3は、表現される画像Bの背景光を最小化し、背景光は環境光に由来している。

【誤訳訂正10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

この目的のために、中間スクリーン3は、反射方式で具現化される。したがって、環境光による画像Bの背景光は回避され、画像Bの高いコントラストがもたらされる。

【誤訳訂正11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

仮想画像B上の環境光の影響をさらに低減するため、一つの発展形態（より具体的な詳細は示されていない）における中間スクリーン3は、光学フィルタをさらに含み、光源2.1により生成された光Lのみが中間スクリーン3から鏡4の方向に反射され、環境光は、吸収され、透過され、又は鏡4とは異なる方向に反射されるように具現化される。

【誤訳訂正12】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

光学フィルタは、光活性および／または光屈折材料、例えば、ポリマーから形成される。選択的な反射、吸収、透過および／または反射のために、ホログラフィック構造が好ましくは前記材料内に導入される。この導入は、一つまたは複数のレーザビームによって達成され、中間スクリーン3を用いて、前記中間スクリーンに入射する光Lおよび環境光の振幅および／または位相変調が行われ、環境光がフィルタによって除去されるようにする。この場合、フィルタは、波長および／または入射光Lおよび環境光の入射角に依存して施される。

【誤訳訂正13】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

中間スクリーン3は、さらに、同様に、表現される画像Bの背景光を最小化するように具現化され、背景光は環境光に由来する。この目的のために、中間スクリーン3は、光学フィルタ7を含み、光源2.1によって生成された光Lのみが、光学フィルタ7によって透過される。環境光は、反射され、吸収され、または鏡4とは異なる方向に偏向される。

【誤訳訂正14】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

図4に概略的に示されている光学フィルタ7は、光活性および／または光屈折材料、例えばポリマーから形成される。選択的な反射、吸収、透過および／または反射のために、ホログラフィック構造が、好ましくは、前記材料内に導入される。この導入は、一つまたは複数のレーザビームによって達成され、例えば、中間スクリーン3を用いて、光Lが前記中間スクリーンに入射する光Lおよび環境光の振幅および／または位相変調が行われ、環境光がフィルタで除去されるようにする。この場合、フィルタは、波長および／または入射光L及び環境光の入射角に依存して施される。

【誤訳訂正15】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヘッドアップディスプレイ(1)、特に、車両に使用するものであって、赤、緑及び青の色彩を含む光源(2.1)と投影スクリーン(6)とを含み、前記光源(2.1)によって放出された光(L)の方向に、これによって投影スクリーン(6)上に表示される画像(B)の成形のための中間スクリーン(3)を含み、

前記中間スクリーン(3)は、少なくとも一部が反射性に形成され、前記中間スクリーン(3)は、光学フィルタを含み、前記光学フィルタは、光源(2.1)の赤、緑及び青の色彩の各帯域に基づいて観測者の方向に前記光源(2.1)によって生成された光(L)のみを導くことを特徴とするヘッドアップディスプレイ(1)。

【請求項2】

前記中間スクリーン(3)は、すべて反射性に形成されたことを特徴とする請求項1に記載のヘッドアップディスプレイ(1)。

【請求項3】

前記光学フィルタは、環境光が吸収可能、または所定の方向に透過可能もしくは反射可能となるように形成されたことを特徴とする請求項1に記載のヘッドアップディスプレイ(1)。

【請求項4】

前記中間スクリーン(3)は、一部が反射性に形成されたことを特徴とする請求項1に記載のヘッドアップディスプレイ(1)。

【請求項5】

前記光学フィルタ(7)は、環境光が所定の方向に、反射可能、吸収可能または偏向可能であるように具現化されることを特徴とする請求項1に記載のヘッドアップディスプレイ(1)。

【請求項6】

前記投影スクリーン(6)は、前記光源(2.1)の赤、緑及び青の色彩の各帯域に基づいて、赤、緑及び青の色彩を含む前記光源(2.1)によって生成された光(L)のみが前記投影スクリーン(6)から観察者の方向に反射可能であり、環境光は、吸収可能、または所定の異なる方向に、透過可能もしくは反射可能であるように具現化された光フィルタを含む請求項1に記載のヘッドアップディスプレイ(1)。